

「情報信託銀行」コンソーシアム設立趣意書

私ども、NIPPON Platform 株式会社（代表取締役社長:高木純、本社:東京都品川区）は「日本をキャッシュレス化することで、日本の国家運営コストを激減させ、日本の経済成長を促進する」を経営理念に掲げ、ニッポンペイ、ニッポンタブレット等のブランドを通じてさまざまなキャッシュレスソリューションサービスを提供している新興 FinTech 企業です。

今後、キャッシュレス化が推進されることで経済成長の促進や国家運営コストの削減が期待されています。しかしながら、キャッシュレス化が進展し、キャッシュレスによる決済手段が普及すれば、あらゆる取引情報が電子化されることで既存の金融ビジネスにおける収益力の減少を惹き起こす可能性があり、その結果、銀行業界の再編につながるなど大きな脅威となることが危惧されています。その一方で、キャッシュレスによる決済手段を通じてデジタルデータの取得が進めば、これまで以上の情報生産機能や金融仲介機能を発揮できるようになることが大いに期待されております。

国内の金融機関においては、新興 FinTech 企業の台頭による「金融サービスのアンバンドリング化」が加速していますが、逆に欧米大手金融機関においては、自社のプラットフォーム上に新興 FinTech 企業のイノベティブな技術やアイデアを取り込む金融サービスの「リバンドリング化」とも言うべき現象が起き始めています。

このような我が国の現状や国際的な潮流を踏まえた上で、国内の金融機関が、金融仲介業としての従来の役割を果たしつつも、「キャッシュレス化推進により取得できるデジタルデータから新たな収益モデルを創造する」ことを目的として、関係する皆様方のご知見を統括し「情報信託銀行」設立に向けての諸課題を検討していくために、この度、本コンソーシアムを設立することといたしました。

我が国の金融機関及び金融機関に関係する皆様方におかれましては、設立の趣旨にご賛同の上、是非とも本コンソーシアムにご入会頂き、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年9月25日

設立発起人 高木 純

(NIPPON Platform 株式会社 代表取締役社長)

研究開発責任者 橋田 浩一

(東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャル ICT 研究センター教授)